

第3章 鳥類



武石 宣彰

佐伯市自然環境調査－第2次

鳥類

武石宣彰

1 調査の概要

平成21年から平成23年に行われた第1次佐伯市自然環境調査にて、15目43科142種の鳥類が確認され、佐伯市における鳥類の生息状況の全体を把握することができました。第2次の自然環境調査では、自然環境における生物多様性評価の指標の一つとなる猛禽類について、より詳細に調査し、その生息状況を明らかにすることによって、その生息環境を適切かつ有効に保全することを目的として行いました。

また第2次自然環境調査の中で新たに確認された鳥類は「佐伯市鳥類目録」及び「鳥類生息状況調査結果」に追記し、目録及び生息状況調査結果を改訂しました。

(1) 調査対象及び調査対象地域

第1次佐伯市自然環境調査報告書の「表1. 鳥類生息状況調査結果」に掲載された猛禽類（タカ目タカ科・ハヤブサ科、及びフクロウ目フクロウ科）から、佐伯市で繁殖している、もしくは繁殖している可能性が高いと考えられる留鳥と夏鳥、及び、冬季に佐伯市に渡来て越冬する冬鳥を抽出して調査対象としました。調査種の設定に当たっては、第1次佐伯市自然環境調査報告書の「表2. 佐伯市鳥類重要種一覧」を参考し決定しました。

調査対象区域は佐伯市全域とし、第1次佐伯市自然環境調査報告書の「表1. 鳥類生息状況調査結果」に基づき、それぞれの鳥類の生息環境から調査区域を設定しました。

目	科	種名
タカ目	タカ科	ミサゴ
		ハチクマ
		オオタカ
		ハイタカ
		ノスリ
		サシバ
		クマタカ
ハヤブサ科	ハヤブサ	ハヤブサ
		チョウゲンボウ
フクロウ目	フクロウ科	アオバズク
		フクロウ

(2) 調査期間

調査地域における現地調査を平成24年1月から平成26年12月の期間に行いました。

(3) 調査方法

現地調査では、生息状況に応じて定点を設定し出現する鳥類を観察して記録しました。環境や生息状況により移動定点による観察も行いました。また必要に応じて調査ルートを時速約1.5kmで歩き、両側及び上空に出現する鳥類を記録しました。

調査用具には、双眼鏡(8倍)、望遠鏡(20~45倍)、カメラ、時計、地図等を使用しました。

2 調査結果

猛禽類の生息状況

佐伯市における猛禽類の生息状況を調査した結果に基づいて、10kmメッシュでの生息マップを作製しました。生息分布図の青色の塗りつぶし部分は、調査で猛禽類が目撃されたメッシュを表します。猛禽類の種類ごとの生息状況は以下の通りです。

(1) ミサゴ *Pandion haliaetus* Osprey

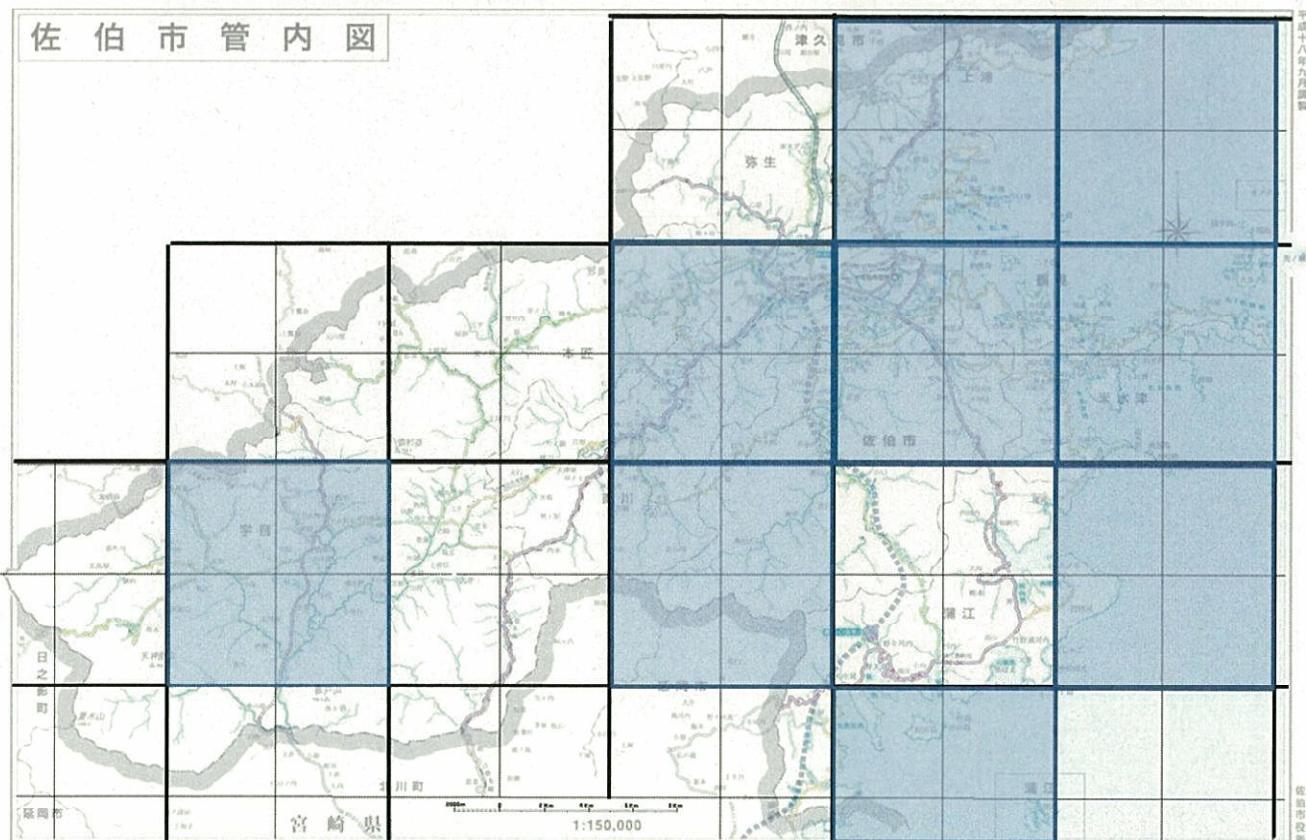
全長は雄が約54cm、雌64cmで翼開長155~175cm。魚類を主食とし、もっぱら海岸や湖沼、河川などに一年中生息しています。滑空と羽ばたきを交互に行う飛翔をし、空中でホバリングをして水中の魚を探します。魚が水面近くに来ると急降下して水中にダイビングし魚を捕えます。ボラやスズキ、コイ、フナなど主なエサですが、まれに鳥類も捕えることがあります。佐伯市では四浦半島から蒲江にかけての海岸線や深島、沖黒島などの島嶼、番匠川水系の河川に生息しています。魚類を主食とするため、農薬や工場廃液による汚染や営巣場所となる半島、岬などの観光開発によって個体数が減少しています。環境省レッドリスト及び大分県レッドデータブックでは共に「準絶滅危惧」として掲載されています。



営巣中のミサゴ



魚を捕えたミサゴ



ミサゴ生息分布図

(2) ハチクマ *Pernis apivorus* Honey Buzzard

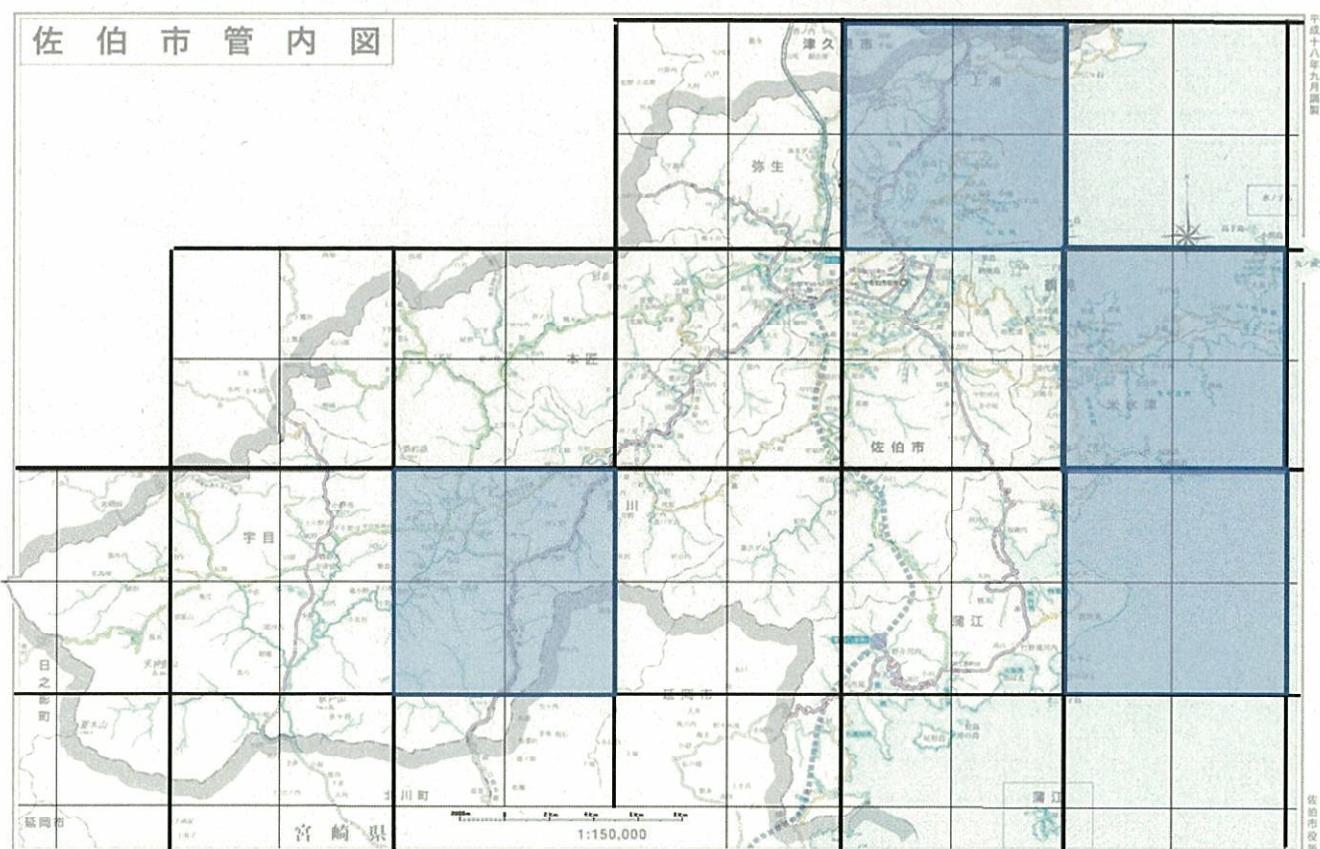
全長は雄が約 57cm、雌約 60cm、翼開長 121～135cm。夏鳥として渡来し、丘陵地や山地で繁殖します。エサはクロスズメバチの幼虫やさなぎを主としています。9月中旬ころから渡りを開始し、九州から東シナ海を越えて中国大陸に渡り、さらに南下してインドネシアなどで越冬します。佐伯市では繁殖は確認されていませんが、山地や里山で生息の兆候が目撃されています。秋の渡りのシーズンには、四国から九州に入ってくるハチクマが鶴見半島や米津、蒲江などで観察されます。環境省レッドリスト及び大分県レッドデータブックでは共に「準絶滅危惧」として掲載されています。



ハチクマ♂



ハチクマ幼鳥



ハチクマ生息分布図

(3) オオタカ *Accipiter gentilis* Northern Goshawk

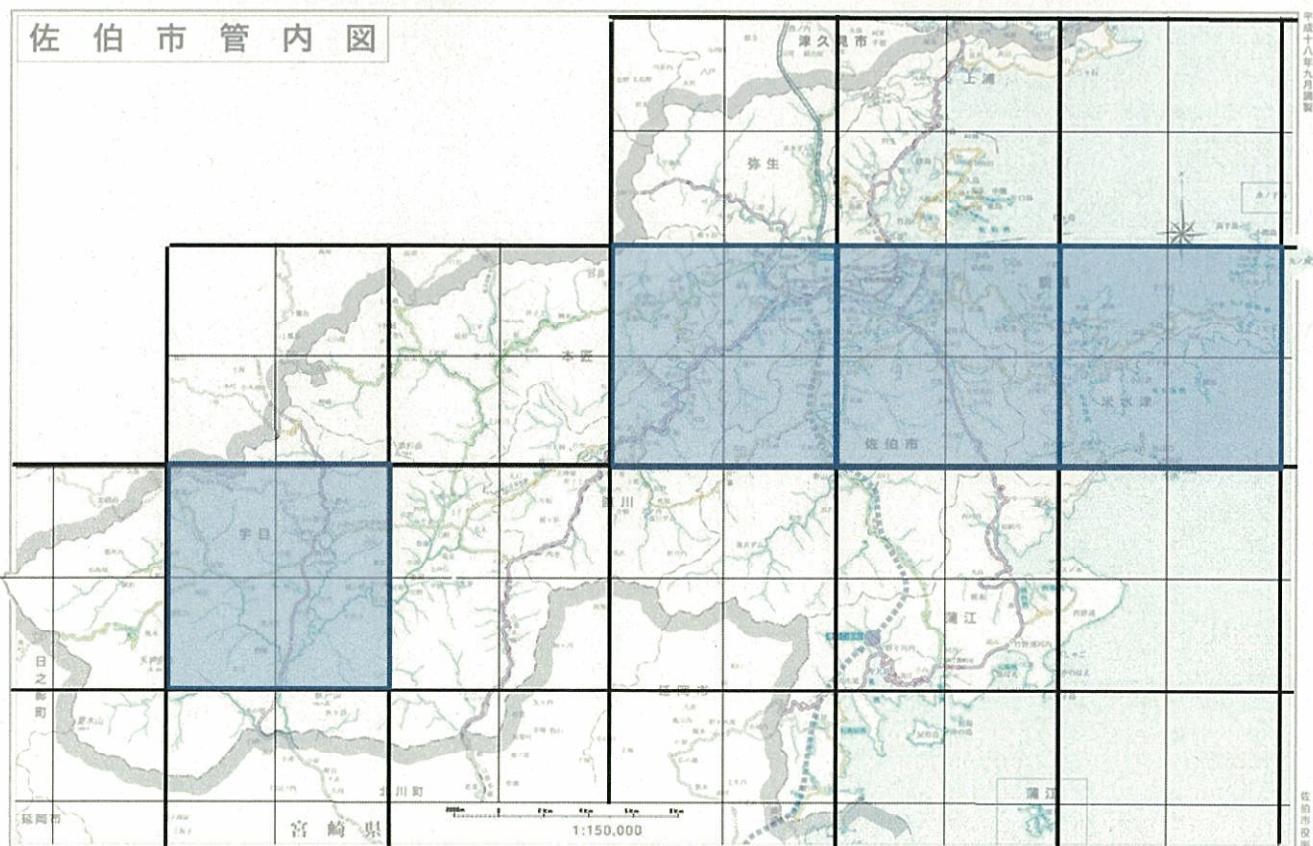
全長は雄が約 50cm、雌約 57cm、翼開長 105~130cm。北海道から九州にかけての平地や標高 100m ~200m の丘陵地、森林に生息します。エサは主に中型の鳥類で、キジバトやヤマドリ、カモ類を捕えます。鳥類以外ではノウサギやタヌキなどの幼獣もエサとします。九州での繁殖例は少なく、主に冬季、越冬のために本州などから渡って来たオオタカがよく見られます。佐伯市では、オオタカの繁殖は確認されておらず、秋の渡りの時期の目撃や冬季の越冬個体が、平地から里山にかけてよく見られます。オオタカは密猟による個体数の減少が危惧されてきましたが、関東などの主な繁殖地で保護が進み、生息環境も向上したことと相まって、近年、個体数が増加しつつあることが報告されています。環境省レッドリストでは「準絶滅危惧」、大分県レッドデータブックには「絶滅危惧Ⅱ類」として掲載されています。



オオタカ成鳥



オオタカ幼鳥

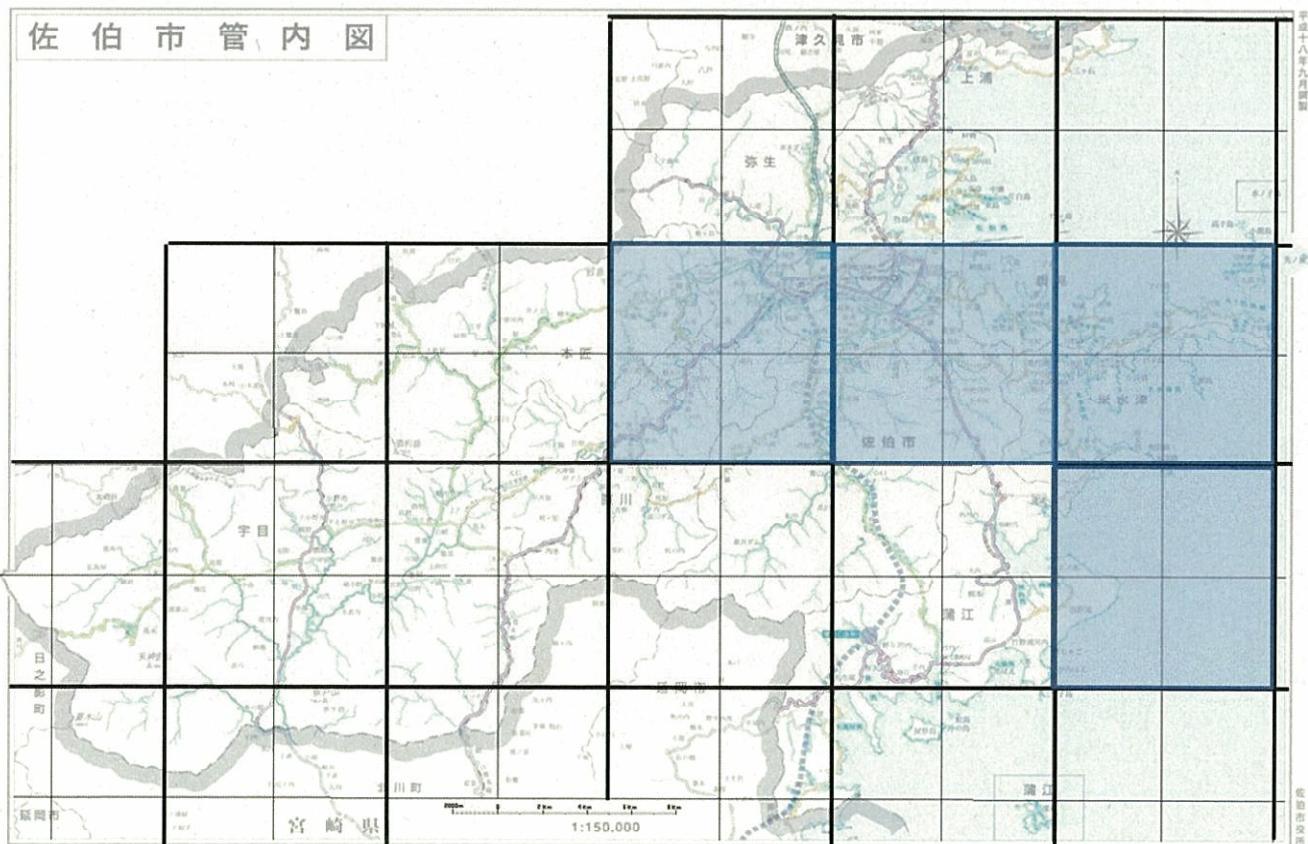


(4) ハイタカ *Accipiter nisus* Eurasian Sparrowhawk

全長は雄が約31.5cm、雌約39cm、翼開長62~76cm。北海道や本州で繁殖し、全国的には冬鳥として見られます。エサはほとんどが鳥類で、オスは主としてスズメ以下の小鳥を捕食し、少し体の大きいメスはツグミ大のものをしばしば捕えます。佐伯市では冬鳥として秋から冬にかけて渡来し、平地から山林、河川敷や農耕地などでエサを探りながら越冬します。環境省レッドリスト及び大分県レッドデータブックでは共に「準絶滅危惧」として掲載されています。



エサを探すハイタカ



ハイタカ生息分布図

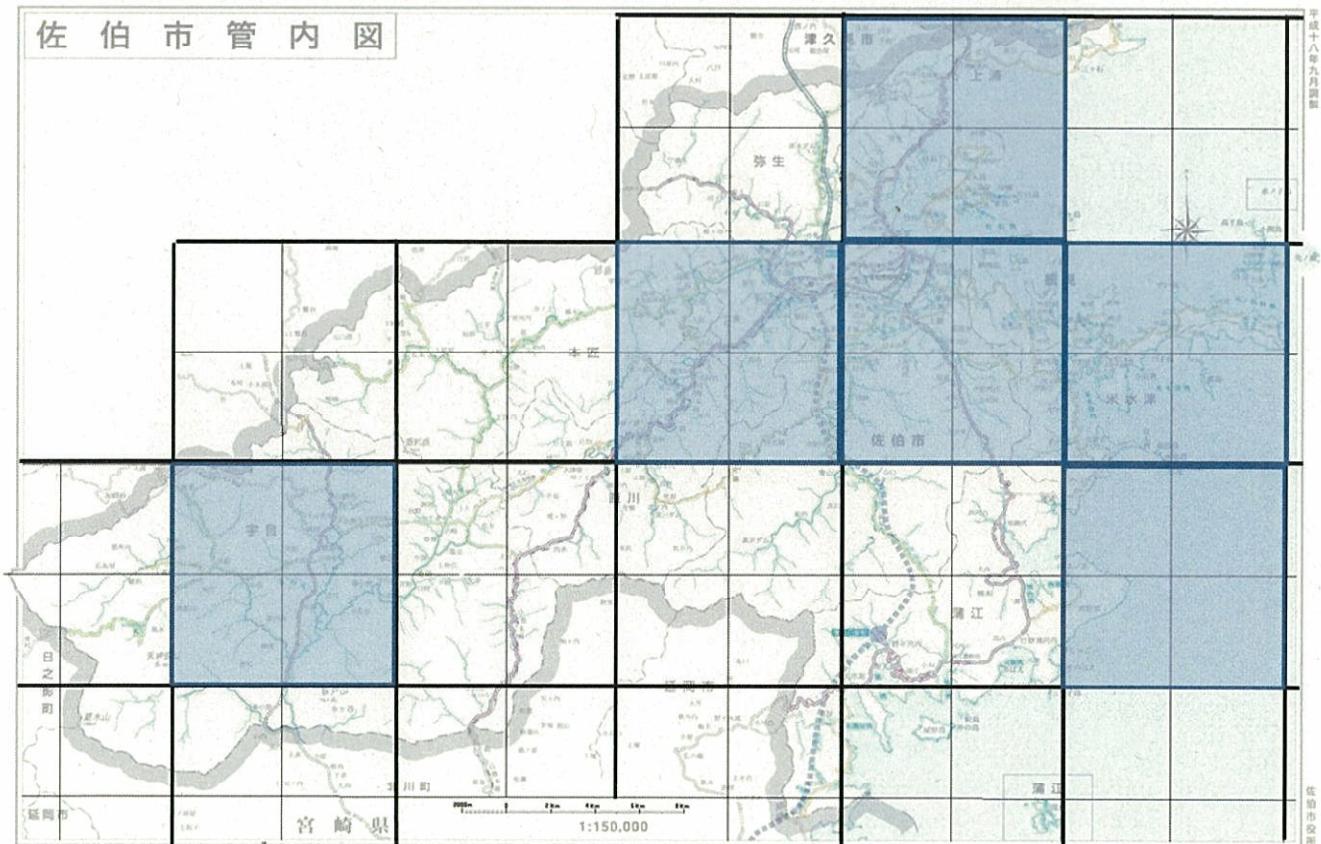
(5) ノスリ *Buteo buteo* Common Buzzard

全長は約54cm、翼開長122~137cm。北海道から四国の低山や山麓で繁殖し、冬には全国的に見られます。農耕地や川原、市街地などに出現します。小型の哺乳類が主なエサで、ネズミやモグラ、イタチなどを捕えます。佐伯市では冬鳥として渡来し、農耕地や川原などで越冬します。以前は渡りの時期に通過する個体が見られるだけでしたが、近年、渡来する数が増加し、毎年、数羽が冬を越すようになりました。大分県レッドデータブックでは「準絶滅危惧」として掲載されています。





上空からエサを探すノスリ



ノスリ生息分布図

(6) サシバ *Butastur indicus* Grey-faced Buzzard-Eagle

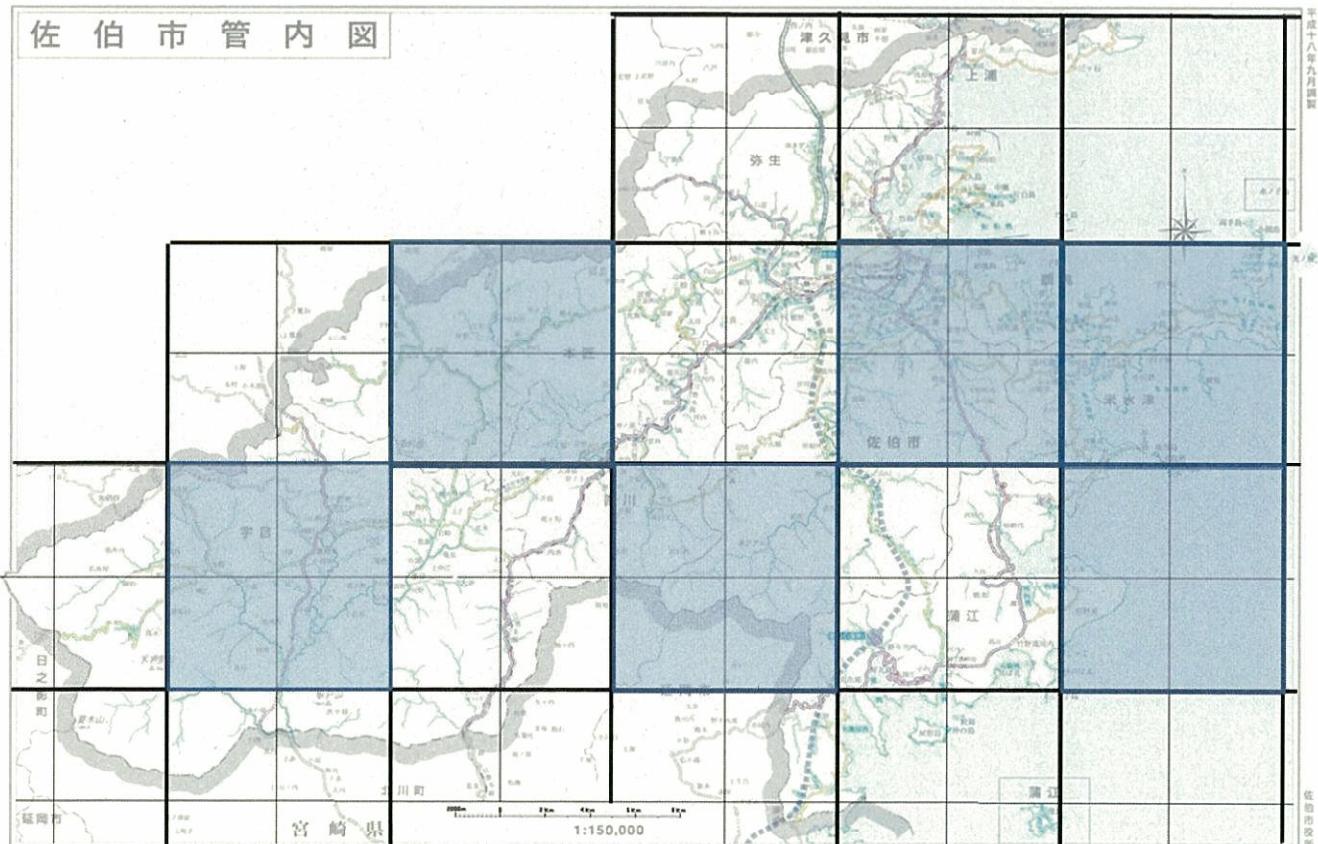
全長は約50cm、翼開長102.5~115cm。4月ごろ日本に渡来し、本州から九州にかけての低山帯の森林で繁殖する夏鳥です。9月下旬から10月上旬にかけて群れで渡りを行い、本州から四国、九州を経て東南アジアに渡り越冬します。日本では山麓や丘陵、平地の森林で生活し、ピックィーと鋭い声でよく鳴きます。エサはヘビやトカゲ、カエル、バッタなどを水田や畑地で捕え、ヒナに運びます。佐伯市では、里山に生息するほか、秋に南へ渡るたくさんのサシバが見られます。渡りの群れは、四国の由良半島や高茂岬から飛出して豊後水道を越え、鶴見半島や米水津、蒲江の海岸に入って来ます。環境省レッドリスト及び大分県レッドデータブックでは共に「絶滅危惧Ⅱ類」として掲載されています。



渡りの途中のサシバ幼鳥



サシバ成鳥



サシバ生息分布図

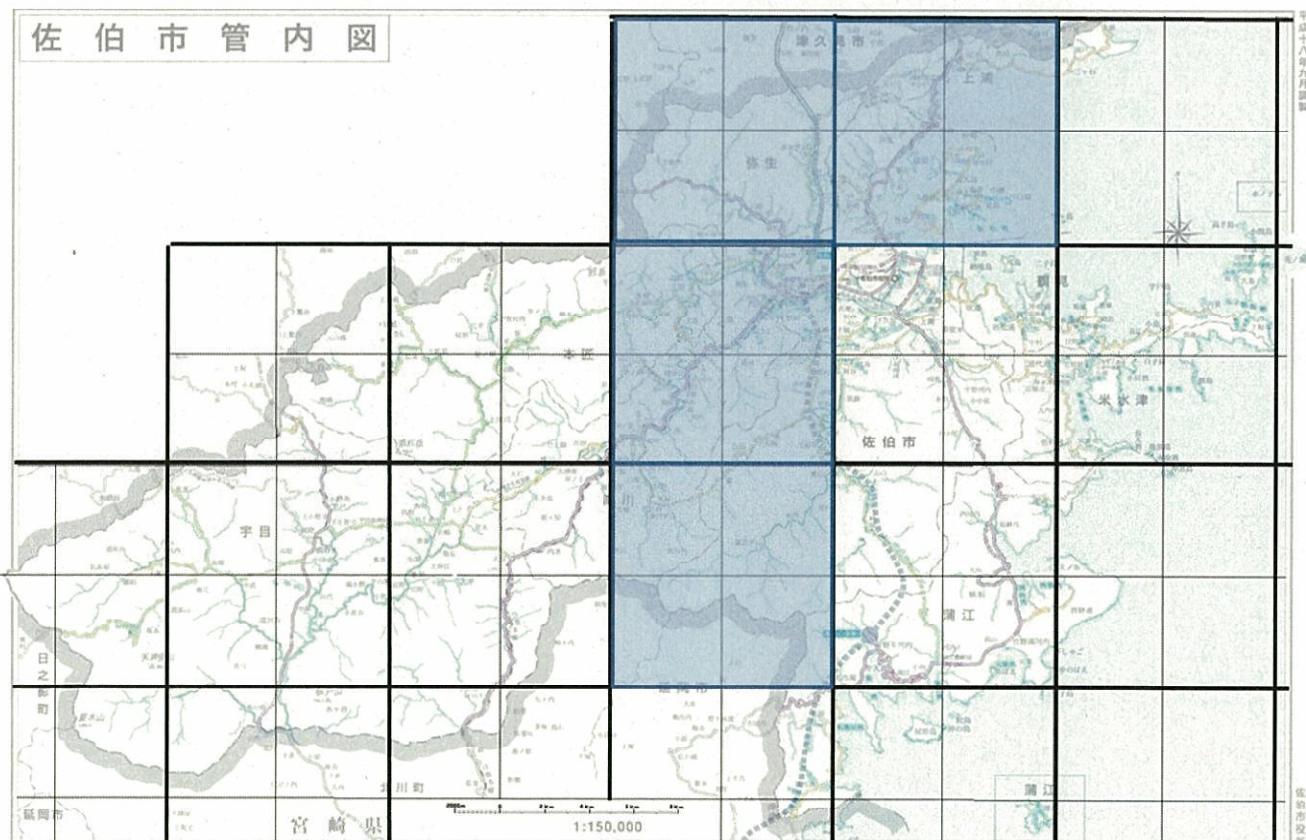
(7) クマタカ *Spizaetus nipalensis* Mountain Hawk Eagle

全長は雄が約72cm、雌約80cm、翼開長140~165cm。北海道から九州までの山地に生息する留鳥です。森林に棲む大型の猛禽類で、ノウサギやキツネ、タヌキなどの哺乳類からキジ、ヤマドリなどの鳥類をエサとしています。森林などの生息環境の悪化、エサ動物の減少、密猟などで個体数が減少しており、絶滅が懸念されています。佐伯市では山地の森林部に生息していますが、数が少ないため、出会う機会の少ない鳥です。

環境省レッドリスト及び大分県レッドデータブックでは共に「絶滅危惧IB類」として掲載されています。



エサを探して飛翔するクマタカ



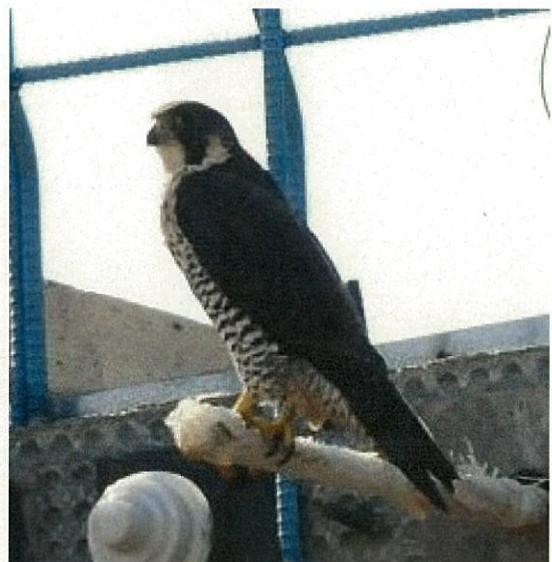
クマタカ生息分布図

(8) ハヤブサ *Falco peregrinus* Peregrine Falcon

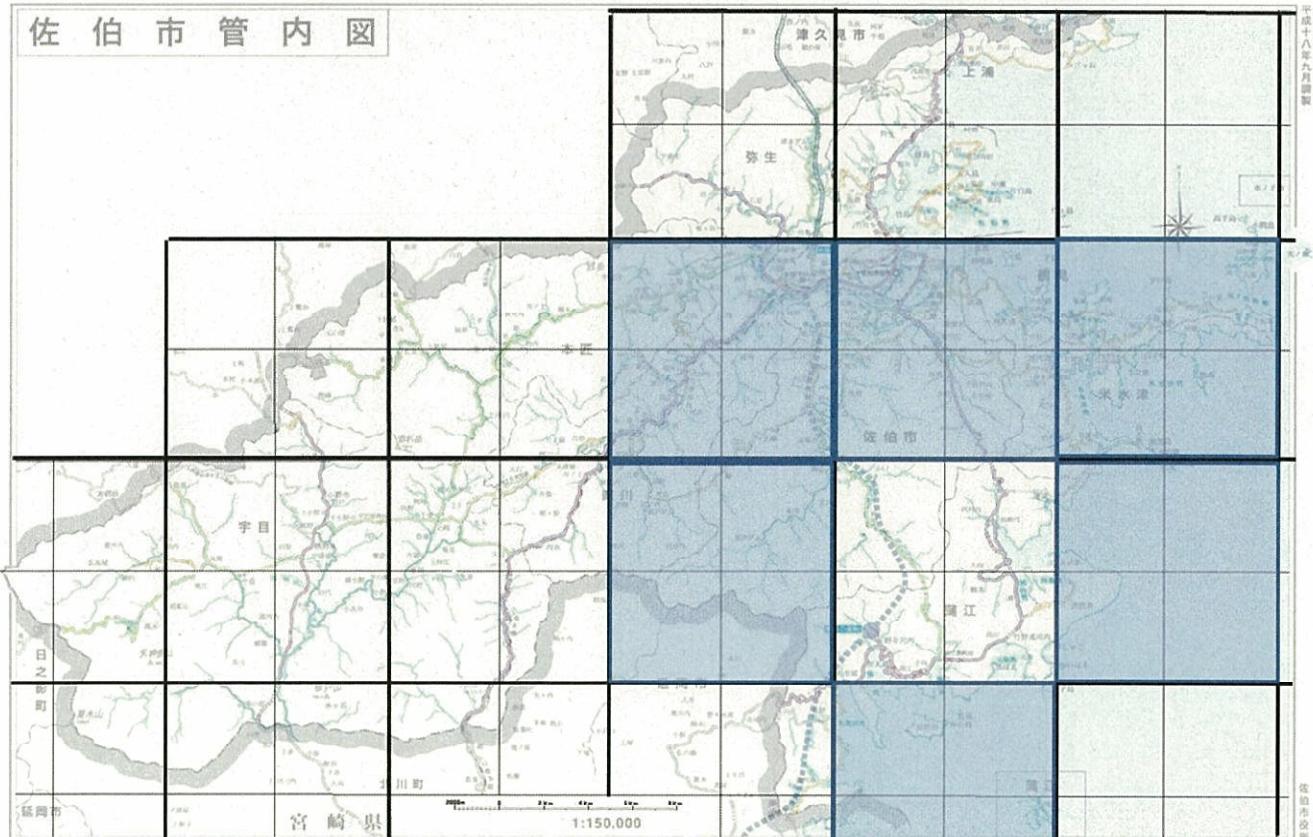
全長は雄が約 38cm、雌約 51cm、翼開長 84~120cm。北海道から九州まで、国内全域に生息していますが、個体数は少なく、絶滅が懸念されています。

ヒヨドリやドバトなど中型や小型の鳥をエサとしており、鉄塔の上など見晴らしの良い所で獲物を見つけ、上空から猛スピードで降下して捕えます。佐伯市では、海岸線や河川沿いにハンティングをしているハヤブサが見られます。海岸線では春や秋の渡りの時期に、海上を移動するヒヨドリの群れを上空から襲うハヤブサの狩りが見られます。

環境省レッドリスト及び大分県レッドデータブックでは共に「絶滅危惧Ⅱ類」として掲載されています。



獲物を探すハヤブサ



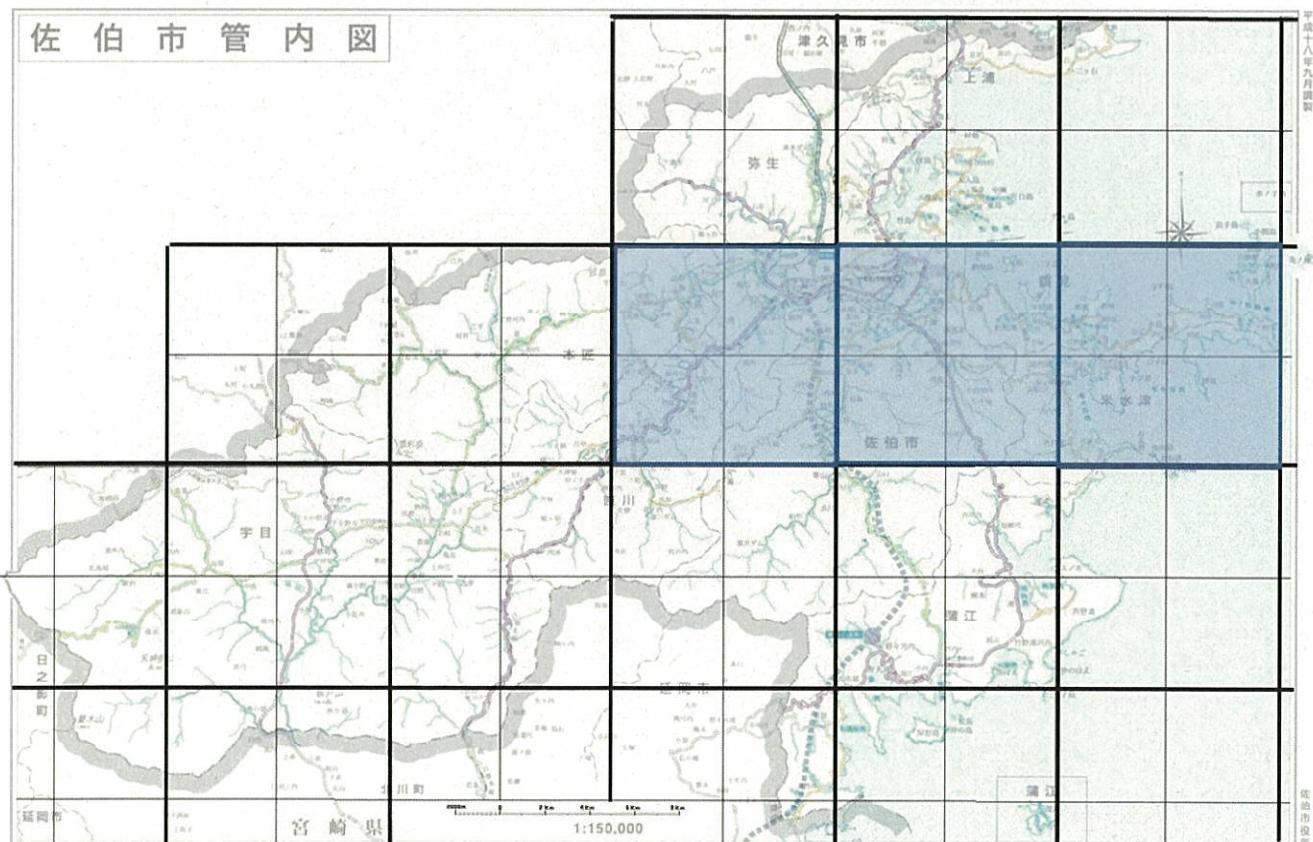
ハヤブサ生息分布図

(9) チョウゲンボウ *Falco tinnunculus* Common Kestrel

全長は雄が約33cm、雌約38.5cm、翼開長68~76cm。ハヤブサの仲間では最も尾が長く見えます。開けた土地を好み、耕作地に続く林縁部や丘陵地、草原や湿原に生息します。近年では大都市のビルのテラスや鉄橋などに営巣する様子がテレビで紹介され話題となっています。エサは小型の哺乳類が主で、ネズミやモグラなどを捕えます。またトンボやバッタなどの昆虫や小鳥もエサとします。主に東日本で繁殖し、冬季には西日本にも移動し、全国的に見られます。佐伯市では、秋に渡来し、耕作地や河川敷などでエサを探り、越冬します。



田んぼや河川敷でエサを探すチョウゲンボウ



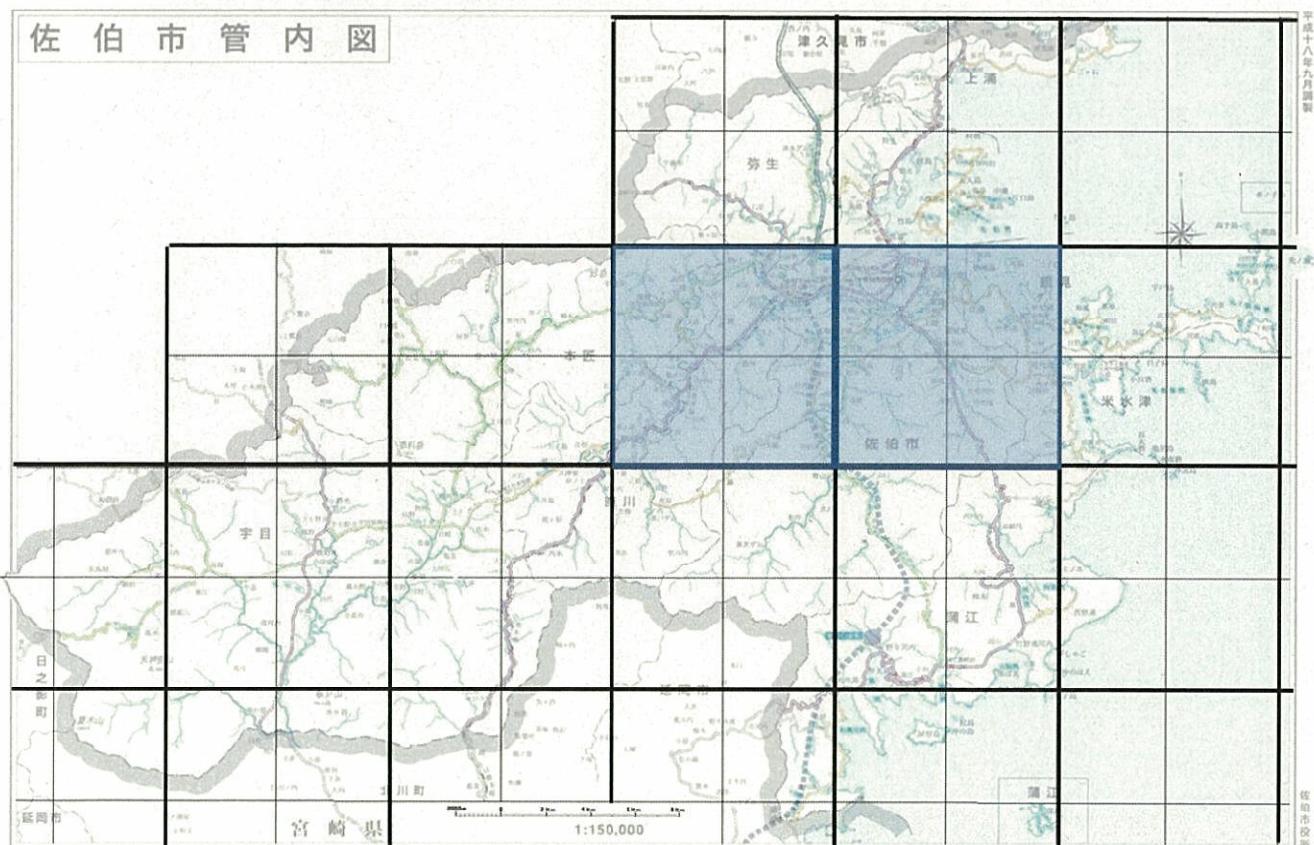
チョウゲンボウ生息分布図

(10) アオバズク *Ninox scutulata* Brown Hawk Owl

全長 27~30.5cm、翼開長 66~70.5cm で耳羽の無い丸い顔をしたフクロウの仲間です。4月~5月頃に東南アジアから日本に渡来し大木の樹洞などに営巣します。夕方、暗くなる頃から活動を始め、昆虫を主に捕えエサとします。近年、樹洞のある大きな樹木が少なくなり、伐採されずに残されている神社やお寺などの木に営巣しています。夜間、街灯に集まって来る蛾などの昆虫をとらえ巣に運んでいる様子が見られます。7~8月頃には幼鳥が巣立ち、秋には南の国へと渡って行きます。大分県レッドデータブックでは「準絶滅危惧」として掲載されています。



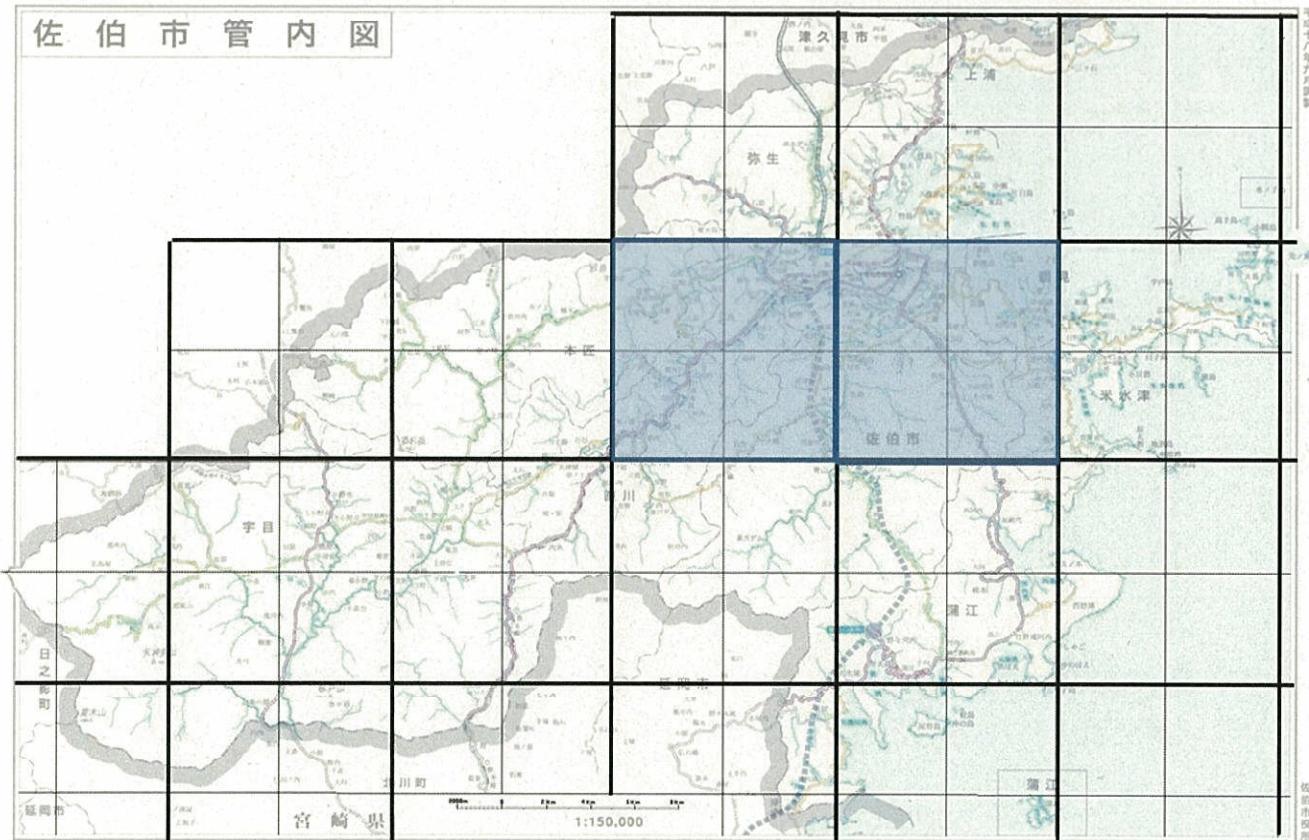
神社の森で繁殖するアオバズク



アオバズク生息分布図

(11) フクロウ *Strix uralensis* Ural Owl

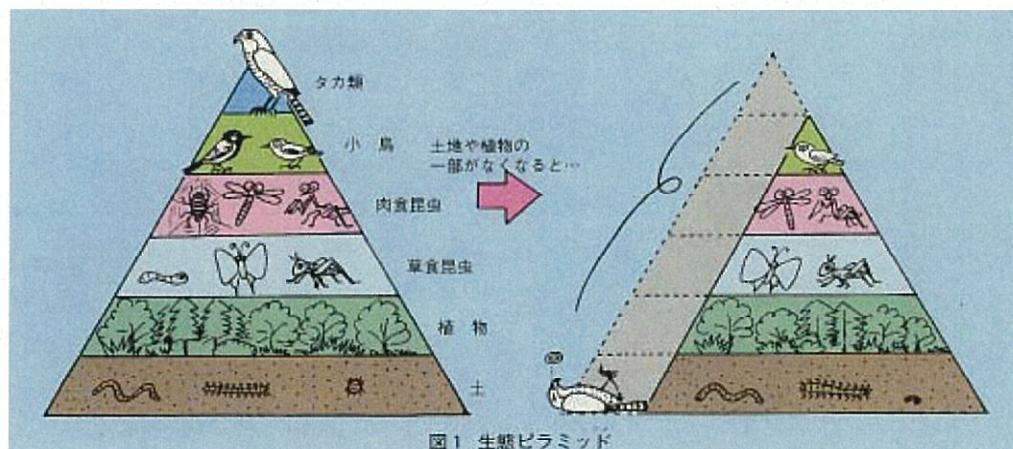
全長 48~52cm、翼開長 94~102cm で耳羽の無い丸い顔をしたフクロウの仲間です。北海道から九州にかけて生息する留鳥です。大木の洞に営巣することが多く、神社やお寺の森などに生息しています。主に夜行性で、小型の哺乳類を中心に鳥類や爬虫類、昆虫などを捕えてエサとしています。体の色合いは目立たないため、日中にその姿を見ることは少ないのですが、夜、「ホッホ、グルスク、ホッホ」と鳴く独特の鳴き声で、生息していることが分かります。大分県レッドデータブックでは「絶滅危惧Ⅱ類」として掲載されています。



フクロウ生息分布図

3 猛禽類の生息と自然環境について

タカの仲間やフクロウの仲間などの猛禽類は、食物連鎖の高次に位置づけられる生き物です。これら猛禽類は鳥類や哺乳類、魚類をエサとしており、これらが安定的に生息できる環境は、エサとなる生物が豊富に生息している環境です。これらの餌動物が豊富に生息できる環境はまた爬虫類や昆虫、植物などが豊かである環境が存在しています。猛禽類の生息状況は、その地域の自然環境の豊かさ、多様性を表していると言えます。



4 猛禽類の生息分布図について

猛禽類はもともと生息個体数が少なく、その繁殖については外的要因、特に人の接近や生息地の改変などが大きく影響します。また常に密猟の問題が付きまといます。その為、繁殖場所や高度利用域が特定されるのを防止する意味から、今回の生息分布図は10kmメッシュで分布を表しました。なお生息分布図における青色の塗りつぶしは該当する種が目撃されたメッシュを表しています。その為、夏鳥や冬鳥など渡りを行う種は、渡り途中の通過が含まれています。

参考文献

- 日本鳥学会 2000 日本鳥類目録 改訂第6版
- 高野伸二 1982 フィールドガイド日本の野鳥 日本野鳥の会
- 日本鳥類保護連盟 1988 鳥630図鑑
- 森岡照明・叶内拓哉他 1995 図鑑日本のワシタカ類 文一総合出版
- 五百沢日丸 2000 日本の鳥550 山野の鳥 文一総合出版
- 吉井正 1988 コンサイス鳥名辞典 三省堂
- 大分県野鳥友の会 1992 大分県内で観察された野鳥 20周年記念誌
- 日本野鳥の会大分県支部 2006 おおいたの野鳥
- 大分県 2001 レッドデータブックおおいた
- 大分県 2012 レッドデータブックおおいた 2011

表1 鳥類生息状況調査結果(2009年~2015年)

2015年2月20日改訂

No.	目	科	種名	生活型	島嶼部	海岸部	河川	市街地近郊	里地里山	山地
1	カツブリ目	カツブリ科	カツブリ	留鳥			○		○	
2			カンムリカツブリ	冬鳥			△			
3	ミズナギドリ目	ミズナギドリ科	ハシボンミズナギドリ	旅鳥	◎					
4			カワウ	留鳥	○	○	○	○	○	
5	ペリカン目	ウ科	ウミウ	冬鳥	○	○				
6			ヒメウ	冬鳥		△				
7			ゴイサギ	留鳥			○			
8			ササゴイ	夏鳥			○			
9			アカガシラサギ	旅鳥					△	
10			アマサギ	夏鳥			□	○		
11	コウノトリ目	サギ科	ダイサギ	留鳥	○		○	○	○	
12			チュウサギ	夏鳥			△	○		
13			コサギ	留鳥		○	○	○		
14			クロサギ	留鳥	△	△				
15			アオサギ	留鳥	○	○	○	○	○	
16			コウノトリ	迷鳥						△
17			オシドリ	冬鳥			○		○	
18			マガモ	冬鳥			○	○		
19	カモ目	カモ科	カルガモ	留鳥			○	○	○	
20			コガモ	冬鳥			○	○		
21			ヨシガモ	冬鳥			○			
22			オカヨシガモ	冬鳥			○			
23			ヒドリガモ	冬鳥			○	○		
24			アメリカヒドリ	冬鳥			△			
25			オナガガモ	冬鳥			○			
26			ハシビロガモ	冬鳥			○	○		
27			ホシハジロ	冬鳥			○			
28			スズガモ	冬鳥			△			
29			ウミアイサ	冬鳥		□				
30	タカ目	タカ科	ミサゴ	留鳥	○	○	○	○		
31			ハチクマ	夏鳥		△				
32			トビ	留鳥	○	○	○	○	○	
33			オオタカ	冬鳥		△	△	△	△	
34			ツミ	冬鳥		△				
35			ハイタカ	冬鳥		△	△	△	△	
36			ノスリ	冬鳥		△		△	△	△
37			サシバ	夏鳥		□			△	
38			クマタカ	留鳥			△			△
39			ハイイロチュウヒ	冬鳥			△		△	
40			ハヤブサ	留鳥	△	△	△		△	
41			チゴハヤブサ	旅鳥		△				
42			チョウゲンボウ	冬鳥			○	○	○	
43	キジ目	キジ科	コジュケイ	留鳥	○		○	○		
44			ヤマドリ	留鳥					△	
45			キジ	留鳥	○		○	○		
46	ツル目	クイナ科	ヒクイナ	夏鳥				△		
47			バン	留鳥			○			
48			オオバン	冬鳥			○			
49	チドリ目	チドリ科	コチドリ	夏鳥				○		
50			イカルチドリ	留鳥			○		○	
51			シロチドリ	留鳥			○			
52			メダイチドリ	旅鳥			△			
53			ムナグロ	旅鳥				□		
54		シギ科	タゲリ	冬鳥				△		
55			トウネン	旅鳥			○	□		
56			ウズラシギ	旅鳥				△		
57			ハマシギ	旅鳥				△	△	
58			クサシギ	冬鳥			△	△		
59			タカブシギ	旅鳥					△	

No.	目	科	種名	生活型	島嶼部	海岸部	河川	市街地近郊	里地里山	山地
60	チドリ目	シギ科	キアシシギ	旅鳥			△			
61			イソシギ	留鳥	○		○	○		
62			ソリハシシギ	旅鳥			△			
63			チュウシャクシギ	旅鳥			○			
64			ヤマシギ	冬鳥				△		
65			タシギ	冬鳥				○	○	
66			オオジシギ	夏鳥	△					
67		ツバメチドリ科	ツバメチドリ	旅鳥				△		
68			ユリカモメ	冬鳥		○				
69			セグロカモメ	冬鳥	○	○	○			
70			オオセグロカモメ	冬鳥	○	○				
71	ハト目	カモメ科	ウミネコ	留鳥	○	○	○	○		
72			ウミスズメ科	カンムリウミスズメ	冬鳥	△				
73			カラスバト	留鳥	○					
74			シラコバト	迷鳥				△		
75		ハト科	キジバト	留鳥	○	○	○	○		
76			アオバト	留鳥	○	○			○	
77	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ	夏鳥					△	
78	ブッポウソウ目	カツオノハタ科	ホトギス	夏鳥	○	○	○		○	
79			アオバズク	夏鳥					○	
80		ブッポウソウ科	ブッポウソウ	留鳥					△	
81			ヒメアマツバメ	留鳥				□		
82		カワセミ科	アマツバメ	夏鳥	○		□	□		
83			ヤマセミ	留鳥			○		○	
84			アカショウビン	夏鳥					△	
85			カワセミ	留鳥	○	○	○	○		
86			ブッポウソウ	夏鳥		○				
87	キツツキ目	キツツキ科	アリスイ	旅鳥				△		
88			アオゲラ	留鳥		△		○	○	
89			オオアカゲラ	留鳥				○	○	
90			コゲラ	留鳥	○	○		○	○	
91			ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	夏鳥				△	
92		ツバメ科	ヒバリ	留鳥			○	○		
93			ツバメ	夏鳥	○		○	○	○	
94			コシアカツバメ	夏鳥			○			
95			イワツバメ	夏鳥			□		□	
96			ツメナガセキレイ	旅鳥				△		
97	スズメ目	セキレイ科	キセキレイ	留鳥		○	○	○	○	○
98			ハクセキレイ	冬鳥		○	○	○	○	
99			セグロセキレイ	留鳥		○	○		○	
100			マジロタヒバリ	迷鳥				△		
101			タヒバリ	冬鳥			○	○	○	
102		サンショウウクイ科	サンショウウクイ	夏鳥			○	△	○	□
103			ヒヨドリ科	ヒヨドリ	留鳥	○	○	○	○	○
104			モズ科	モズ	留鳥	○	○	○	○	○
105	ツグミ目	レンジャク科	キレンジャク	冬鳥				△		
106			ヒレンジャク	冬鳥				□		
107		カワガラス科	カワガラス	留鳥					○	
108			ミソサザイ科	ミソサザイ	留鳥					○
109		ツグミ科	ルリビタキ	冬鳥				△		
110			ジョウビタキ	冬鳥		○	○	○	○	
111			ノビタキ	旅鳥				△		
112			イソヒヨドリ	留鳥	○	○	○	○		
113			シロハラ	冬鳥		○	○	○		
114		ウグイス科	マミチャジナイ	旅鳥				□		
115			ツグミ	冬鳥			○	○		
116			ヤブサメ	夏鳥					△	△
117			ウグイス	留鳥	○	○	○	○	○	
118			オオヨシキリ	夏鳥			○	○		
119			センダイムシクイ	夏鳥						△

No.	目	科	種名	生活型	島嶼部	海岸部	河川	市街地近郊	里地里山	山地
120	スズメ目	ウグイス科	セッカ	留鳥			○	○		
121		ヒタキ科	オオルリ	夏鳥	□				○	○
122			エゾビタキ	旅鳥		△				
123			コサメビタキ	夏鳥	△					
124		カササギヒタキ科	サンコウチョウ	夏鳥			△		○	○
125		エナガ科	エナガ	留鳥	○	◎	◎	◎	◎	◎
126		ツリスガラ科	ツリスガラ	冬鳥			△			
127			ヒガラ	留鳥						△
128		シジュウカラ科	ヤマガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○
129			シジュウカラ	留鳥	○	○	○	○	○	
130		メジロ科	メジロ	留鳥	○	◎	○	○	○	○
131			ホオジロ	留鳥	○	○	○	○	○	○
132			ホオアカ	留鳥			△	△		
133			キマユホオジロ	迷鳥	△					
134	ホオジロ科		ミヤマホオジロ	冬鳥		○		□		
135			ノジコ	旅鳥	△			△		
136			アオジ	冬鳥		○	○	○	○	
137			オオジュリン	冬鳥			○			
138			アトリ	冬鳥					○	
139		アトリ科	カワラヒワ	留鳥	○		○	○	○	○
140			ベニマシコ	冬鳥			△			
141			イカル	留鳥			○	○	○	
142			シメ	冬鳥				△		
143		ハタオリドリ科	ニュウナイスズメ	冬鳥				□		
144	ムクドリ科		スズメ	留鳥	○		○	○	○	
145			ギンムクドリ	迷鳥				△		
146			コムクドリ	旅鳥				□		
147			ムクドリ	留鳥		○	○	○	○	
148		オウチュウ科	オウチュウ	迷鳥					△	
149			カケス	留鳥					○	○
150			コクマルガラス	冬鳥					△	
151	カラス科		ミヤマガラス	冬鳥					○	○
152			ハシボソガラス	留鳥	○		○	○	○	
153			ハシブトガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○
154			ソウシチョウ	留鳥		□		□	□	□
155		チメドリ科	ガビチョウ	留鳥				○	○	

◎
○
□
△

個体数が多く普通に見られる
個体数は多くないが普通に見られる
個体数が少なくないが稀
個体数が少なく稀

: 黄色の網掛けは第2次調査で
確認された鳥種

佐伯市 鳥類目録

2015年2月20日改訂

No.	目	科	種名	学名	生活型	繁殖
1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	<i>Podiceps ruficollis</i>	留鳥	A
2			カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>	冬鳥	D
3	ミズナギドリ目	アホウドリ科	コアホウドリ	<i>Diomedea immutabilis</i>	迷鳥	D
4			オオミズナギドリ	<i>Calonectris leucomelas</i>	留鳥	A
5	ペリカン目	ウ科	ハシボソミズナギドリ	<i>Puffinus tenuirostris</i>	旅鳥	D
6			カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	留鳥	A
7			ウミウ	<i>Phalacrocorax filamentosus</i>	冬鳥	D
8			ヒメウ	<i>Phalacrocorax pelagicus</i>	冬鳥	D
9	コウノトリ目	サギ科	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>	夏鳥	B
10			ミヅゴイ	<i>Gorsakius goisagi</i>	夏鳥	A
11			ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	留鳥	A
12			ササゴイ	<i>Butorides striatus</i>	夏鳥	A
13			アカガシラサギ	<i>Ardeola bacchus</i>	旅鳥	D
14			アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>	夏鳥	A
15			ダイサギ	<i>Egretta alba</i>	留鳥	A
16			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>	夏鳥	A
17			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	留鳥	A
18			クロサギ	<i>Egretta sacra</i>	留鳥	C
19			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	留鳥	A
20		コウノトリ科	コウノトリ	<i>Ciconia ciconia</i>	迷鳥	D
21			ナベコウ	<i>Ciconia nigra</i>	迷鳥	D
22	カモ目	トキ科	ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>	迷鳥	D
23			クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>	迷鳥	D
24	カモ目	カモ科	コクガン	<i>Branta bernicla</i>	冬鳥	D
25			マガン	<i>Anser albifrons</i>	迷鳥	D
26			コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>	迷鳥	D
27			ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>	冬鳥	D
28			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	冬鳥	D
29			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	冬鳥	D
30			カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>	留鳥	A
31			コガモ	<i>Anas crecca</i>	冬鳥	D
32			トモエガモ	<i>Anas formosa</i>	冬鳥	D
33			ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>	冬鳥	D
34			オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>	冬鳥	D
35			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	冬鳥	D
36			アメリカヒドリ	<i>Anas americana</i>	冬鳥	D
37			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	冬鳥	D
38			シマアジ	<i>Anas querquedula</i>	旅鳥	D
39			ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>	冬鳥	D
40			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	冬鳥	D
41			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	冬鳥	D
42			スズガモ	<i>Aythya marila</i>	冬鳥	D
43			クロガモ	<i>Melanitta nigra</i>	冬鳥	D
44			ビロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i>	冬鳥	D
45			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>	冬鳥	D
46			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>	冬鳥	D
47			カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>	冬鳥	D
48	タカ目	タカ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	留鳥	A
49			ハチクマ	<i>Pernis apivorus</i>	夏鳥	A
50			トビ	<i>Milvus migrans</i>	留鳥	A
51			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	冬鳥	C
52			アカハラダカ	<i>Accipiter soloensis</i>	旅鳥	D
53			ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	冬鳥	C

No.	目	科	種名	学名	生活型	繁殖	
54	タカ目	タカ科	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	冬鳥	C	
55			ケーアシノスリ	<i>Buteo lagopus</i>	冬鳥	D	
56			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	冬鳥	C	
57			サシバ	<i>Butastur indicus</i>	夏鳥	A	
58			クマタカ	<i>Spizaetus nipalensis</i>	留鳥	A	
59			クロハゲワシ	<i>Aegypius monachus</i>	迷鳥	D	
60			ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>	冬鳥	D	
61			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	留鳥	A	
62	ハヤブサ科		チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>	旅鳥	D	
63			チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	冬鳥	D	
64	キジ目	キジ科	ウズラ	<i>Coturnix coturnix</i>	冬鳥	C	
65			コジュケイ	<i>Bambusicola thoracica</i>	留鳥	A	
66			ヤマドリ	<i>Phasianus soemmerringii</i>	留鳥	A	
67			キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	留鳥	A	
68	ツル目	ツル科	ナベヅル	<i>Grus monacha</i>	冬鳥	D	
69			マナヅル	<i>Grus vipio</i>	冬鳥	D	
70		クイナ科	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	夏鳥	A	
71			シロハラクイナ	<i>Amaurornis phoenicurus</i>	迷鳥	C	
72			バン	<i>Gallinula chloropus</i>	留鳥	A	
73			ツルクイナ	<i>Gallicrex cinerea</i>	旅鳥	D	
74			オオバン	<i>Fulica atra</i>	冬鳥	A	
75	チドリ目	タマシギ科	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>	留鳥	A	
76		ミヤコドリ科	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>	冬鳥	D	
77		チドリ科	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	夏鳥	A	
78			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	留鳥	A	
79			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	留鳥	A	
80			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	旅鳥	D	
81			オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>	旅鳥	D	
82			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	旅鳥	D	
83			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	旅鳥	D	
84			ケリ	<i>Microsarcops cinereus</i>	冬鳥	D	
85			タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	冬鳥	D	
86		シギ科	キヨウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	旅鳥	D	
87			トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	旅鳥	D	
88			オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i>	旅鳥	D	
89			ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>	旅鳥	D	
90			ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	冬鳥	D	
91			サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>	旅鳥	D	
92			コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>	旅鳥	D	
93			オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>	旅鳥	D	
94			ミュビシギ	<i>Crocethia alba</i>	旅鳥	D	
95			エリマキシギ	<i>Philomachus pugnax</i>	旅鳥	D	
96			キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i>	旅鳥	D	
97			ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	旅鳥	D	
98			アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	旅鳥	D	
99			クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	冬鳥	D	
100			タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	旅鳥	D	
101			キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>	旅鳥	D	
102			イゾシギ	<i>Tringa hypoleucos</i>	留鳥	B	
103			ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>	旅鳥	D	
104			オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>	旅鳥	D	
105			オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	旅鳥	D	
106			ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i>	旅鳥	D	
107			ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	旅鳥	D	

No.	目	科	種名	学名	生活型	繁殖
108	チドリ目	シギ科	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	旅鳥	D
109			コシャクシギ	<i>Numenius minutus</i>	旅鳥	D
110			ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	冬鳥	D
111			タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	冬鳥	D
112			オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	夏鳥	B
113		セイタカシギ科	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	旅鳥	D
114		ヒレアシシギ科	ハイイロヒレアシシギ	<i>Phalaropus fulicarius</i>	旅鳥	D
115			アカエリヒレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>	旅鳥	D
116		ツバメチドリ科	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>	旅鳥	D
117		カモメ科	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>	冬鳥	D
118			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>	冬鳥	D
119			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>	冬鳥	D
120			シロカモメ	<i>Larus hyperboreus</i>	冬鳥	D
121			カモメ	<i>Larus canus</i>	冬鳥	D
122			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	留鳥	A
123			ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i>	冬鳥	D
124			ミツユビカモメ	<i>Larus tridactylus</i>	冬鳥	D
125			クロハラアジサシ	<i>Sterna hybrida</i>	迷鳥	D
126			アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>	旅鳥	D
127			コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>	夏鳥	A
128		ウミスズメ科	ウミスズメ	<i>Synthliboramphus antiquus</i>	冬鳥	D
129			カンムリウミスズメ	<i>Synthliboramphus wumizusume</i>	冬鳥	B
130	ハト目	ハト科	カラスバト	<i>Columba janthina</i>	留鳥	B
131			シラコバト	<i>Streptopelia decaocto</i>	迷鳥	D
132			ベニバト	<i>Streptopelia tranquebarica</i>	迷鳥	D
133			キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	留鳥	A
134			アオバト	<i>Sphenurus sieboldii</i>	留鳥	B
135	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Cuculus fugax</i>	夏鳥	A
136			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	夏鳥	A
137			ツツドリ	<i>Cuculus saturatus</i>	夏鳥	B
138			ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	夏鳥	A
139	フクロウ目	フクロウ科	トラフズク	<i>Asio otus</i>	冬鳥	D
140			コミニズク	<i>Asio flammeus</i>	冬鳥	D
141			アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>	夏鳥	A
142			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	留鳥	A
143	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>	夏鳥	A
144	アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ	<i>Chaetura caudacuta</i>	旅鳥	D
145			ヒメアマツバメ	<i>Apus affinis</i>	留鳥	A
146			アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>	夏鳥	A
147	ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ	<i>Ceryle lugubris</i>	留鳥	A
148			アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>	夏鳥	A
149			カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	留鳥	A
150		ブッポウソウ科	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i>	夏鳥	A
151		ヤツガシラ科	ヤツガシラ	<i>Upupa epops</i>	旅鳥	C
152	キツツキ目	キツツキ科	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>	旅鳥	D
153			アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	留鳥	A
154			オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	留鳥	A
155			コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	留鳥	A
156	スズメ目	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	<i>Pitta brachyura</i>	夏鳥	B
157		ヒバリ科	ヒメコウテンシ	<i>Calandrella cinerea</i>	迷鳥	D
158			ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	留鳥	A
159		ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	夏鳥	A
160			コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	夏鳥	A
161			イワツバメ	<i>Delichon urbica</i>	夏鳥	A

No.	目	科	種名	学名	生活型	繁殖
162	スズメ目	セキレイ科	ツメナガセキレイ	<i>Motacilla flava</i>	旅鳥	D
163			キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	留鳥	A
164			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	冬鳥	C
165			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	留鳥	A
166			マミジロタヒバリ	<i>Anthus novaeseelandiae</i>	迷鳥	D
167			ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	冬鳥	D
168			ムネアカタヒバリ	<i>Anthus cervinus</i>	迷鳥	D
169			タヒバリ	<i>Anthus spinoletta</i>	冬鳥	D
170		サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	夏鳥	A
171		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	留鳥	A
172		モズ科	チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i>	迷鳥	C
173			モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	留鳥	A
174			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>	夏鳥	B
175		レンジャク科	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>	冬鳥	D
176			ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>	冬鳥	D
177		カワガラス科	カワガラス	<i>Cinclus pallasi</i>	留鳥	A
178		ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>	留鳥	A
179		イワヒバリ科	カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i>	冬鳥	D
180	ツグミ科		コマドリ	<i>Erithacus akahige</i>	夏鳥	B
181			ノゴマ	<i>Erithacus calliope</i>	旅鳥	D
182			コルリ	<i>Erithacus cyane</i>	旅鳥	B
183			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	冬鳥	D
184			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>	冬鳥	D
185			ノビタキ	<i>Saxicola torquata</i>	旅鳥	D
186			イナバビタキ	<i>Oenanthe isabellina</i>	迷鳥	D
187			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	留鳥	A
188			トラツグミ	<i>Turdus dauma</i>	留鳥	A
189			マミジロ	<i>Turdus sibiricus</i>	旅鳥	C
190			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	夏鳥	A
191			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	旅鳥	D
192			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	冬鳥	D
193			マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>	旅鳥	D
194			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	冬鳥	D
195	ウグイス科		ヤブサメ	<i>Cettia squameiceps</i>	夏鳥	A
196			ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	留鳥	A
197			エゾセンニュウ	<i>Locustella fasciolata</i>	旅鳥	D
198			シマセンニュウ	<i>Locustella ochotensis</i>	旅鳥	D
199			マキノセンニュウ	<i>Locustella lanceolata</i>	旅鳥	D
200			オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceus</i>	夏鳥	A
201			メボソムシクイ	<i>Phylloscopus borealis</i>	旅鳥	B
202			センダイムシクイ	<i>Phylloscopus accipitalis</i>	夏鳥	A
203			キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>	冬鳥	D
204			セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	留鳥	A
205	ヒタキ科		キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	夏鳥	A
206			ムギマキ	<i>Ficedula mugimaki</i>	旅鳥	D
207			オジロビタキ	<i>Ficedula parva</i>	旅鳥	D
208			オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	夏鳥	A
209			サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>	旅鳥	D
210			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	旅鳥	D
211			コサメビタキ	<i>Muscicapa latirostris</i>	夏鳥	A
212			カササギヒタキ科	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	夏鳥	A
213		エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	留鳥	A
214		ツリスガラ科	ツリスガラ	<i>Remiz pendulinus</i>	冬鳥	D
215		シジュウカラ科	コガラ	<i>Parus montanus</i>	留鳥	A

No.	目	科	種名	学名	生活型	繁殖
216	スズメ目	シジュウカラ科	ヒガラ	<i>Parus ater</i>	留鳥	A
217			ヤマガラ	<i>Parus varius</i>	留鳥	A
218			シジュウカラ	<i>Parus major</i>	留鳥	A
219			ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>	留鳥	A
220		キバシリ科	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	迷鳥	C
221		メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonica</i>	留鳥	A
222		ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	留鳥	A
223			ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	留鳥	A
224			コホオアカ	<i>Emberiza pusilla</i>	迷鳥	D
225			キマユホオジロ	<i>Emberiza chrysophrys</i>	迷鳥	D
226			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	冬鳥	D
227			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>	冬鳥	D
228			シマアオジ	<i>Emberiza aureola</i>	迷鳥	D
229			シマノジコ	<i>Emberiza rutila</i>	迷鳥	D
230			ズグロチャキンチョウ	<i>Emberiza melanocephala</i>	迷鳥	D
231			ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>	旅鳥	D
232			アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	冬鳥	D
233			クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	冬鳥	D
234			シベリアジュリン	<i>Emberiza pallasi</i>	冬鳥	D
235			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>	冬鳥	D
236		アトリ科	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	冬鳥	D
237			カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>	留鳥	A
238			マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	冬鳥	D
239			ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>	冬鳥	D
240			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>	冬鳥	D
241			イカル	<i>Eophona personata</i>	留鳥	A
242			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	冬鳥	D
243	ハタオリドリ科	ニュウナイスズメ	<i>Passer rutilans</i>	冬鳥	D	
244		スズメ	<i>Passer montanus</i>	留鳥	A	
245	ムクドリ科	ギンムクドリ	<i>Sturnus sericeus</i>	迷鳥	D	
246		コムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i>	旅鳥	D	
247		ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>	留鳥	A	
248	オウチュウ科	オウチュウ	<i>Dicrurus macrocercus</i>	迷鳥	D	
249	コウライウグイス科	コウライウグイス	<i>Oriolus chinensis</i>	迷鳥	D	
250	カラス科	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	留鳥	A	
251		ホシガラス	<i>Nucifraga caryocatactes</i>	留鳥	B	
252		コクマルガラス	<i>Corvus monedula</i>	冬鳥	D	
253		ミヤマガラス	<i>Corvus frugilegus</i>	冬鳥	D	
254		ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	留鳥	A	
255		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	留鳥	A	
256		チメドリ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	留鳥	A
257			ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	留鳥	A

【生活型】

夏鳥：大分県内で主として夏に生息している鳥
 冬鳥：大分県内で主として冬に生息している鳥
 旅鳥：大分県内を春と秋に通過する鳥
 留鳥：大分県内に周年生息している鳥
 迷鳥：本来の渡りのコースや分布域から外れて出現した鳥

【繁殖】大分県内の繁殖記録により分類

- A:繁殖が確認されている
- B:繁殖は確認されていないが、可能性が高い
- C:繁殖については何とも言えない
- D:繁殖の可能性は無い

:黄色の網掛けは第2次調査で確認された鳥種